

## 優先的検討方針 第 11 および第 12 評価結果の公表

滋賀県立近江学園整備に伴う優先的検討の実施結果について	
<p>県では、近江学園の建替・運営事業について、民間事業者の技術等を積極的に活用し、より効率的で質の高いサービスの提供を図るとともに財政負担の軽減及び平準化を図るため、PFI手法による整備の適否を検討しましたので、その結果を公表します。</p>	
<p>簡易な検討の評価結果について</p>	
平成 30 年 3 月 29 日	
① PPP/PFI 手法導入の適否	PPP/PFI 手法の導入に適する。
② VFM算定結果	5.6% (BT0 方式等の場合) 8.3% (BT 方式の場合)
③ 理由	PPP/PFI 手法導入により、財政負担の縮減が見込まれるため。
PPP/PFI 手法簡易評価調書（簡易な検討段階） ※入札手続き終了後に添付	
<p>詳細な検討の評価結果について</p>	
平成 31 年 3 月 22 日	
① PPP/PFI 手法導入の適否	PPP/PFI 手法の導入に適する。
② VFM算定結果	4.7%
④ 理由	<p>PPP/PFI 手法 (BT0 方式) 導入により、財政負担の縮減および以下のようなサービス向上の効果が見込まれるため。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設計・建設工事、維持管理を一括して性能発注するため、事業者がノウハウを活用し、不具合の発生頻度が高い部位に対して予防保全を行うことができる。</li> <li>・ 供用開始後に自らメンテナンスを行いやすいよう建物の設計、手配が容易な部材の使用等の創意工夫を行うことで迅速な修繕が可能になることに加え、事案の発生する都度県が行っている発注事務が不要となることで、効率的な維持管理を行うことができる。</li> <li>・ PFI 事業期間を通じて計画的な予防保全が行われるため、毎年度別途予算措置が必要になる BT 方式より劣化進行や故障を未然に防止し、施設の長寿命化をより着実に図ることができる。</li> <li>・ BT0 方式の場合は建設工事等にかかる費用のうち一般財源部分を、維持管理期間を通じて分割払いすることができ、一般財源負担を平準化することができる。</li> </ul>
PPP/PFI 手法簡易評価調書（詳細な検討段階） ※入札手続き終了後に添付	